

# FQ Kids

[574号増刊]

子どもと一緒に楽しめる  
お試し  
ワークブック  
付き!

## ウェルビーイング 「幸福度」と 「学力」の関係

子どもが幸せに生きるために  
必要な「学び」とは?

子どもの幸せのための  
お金の教育

もっとお金と  
「いい関係」を築こう  
ファイナンシャル・  
ウェルビーイングとは

COLUMN

てい先生の  
「子育てお悩み  
相談室」

家族で遊べる&学べる  
お出かけおすすめ  
スポット



表1 ウェルビーイングに関する意識調査

出典：日本版 Well-being Initiative(日本経済新聞社が公益財団法人Well-being for Planet Earth、有志の企業や有識者・団体等と連携して発足した団体)

現在の生活に対する影響要因		5年後の生活に対する影響要因	
1.所得に対する主観的感情	8.婚姻状態	1.所得に対する主観的感情	8.健康上の問題
2.人生における選択の自由	9.地域性(都市部・地方部)	2.人生における選択の自由	9.最低生活費の有無
3.最低生活費の有無	10.性別	3.年齢	10.雇用状態
4.世帯規模	11.雇用状態*	4.困ったときに頼れる人の有無	11.性別*
5.困ったときに頼れる人の有無	12.客観的な所得*	5.地域性(都市部・地方部)	12.婚姻状態*
6.健康上の問題	13.年齢*	6.世帯規模	13.客観的な所得*
7.最終学歴		7.最終学歴	

\*注：これらの指標は、P値0.05以下であり、統計的に主観的ウェルビーイングの影響要因としての重要性が低い。本ランキングは2023年ギャップ社が日報のためにDatawrapperで作成

図1 金融リテラシー度と働く目的についての調査

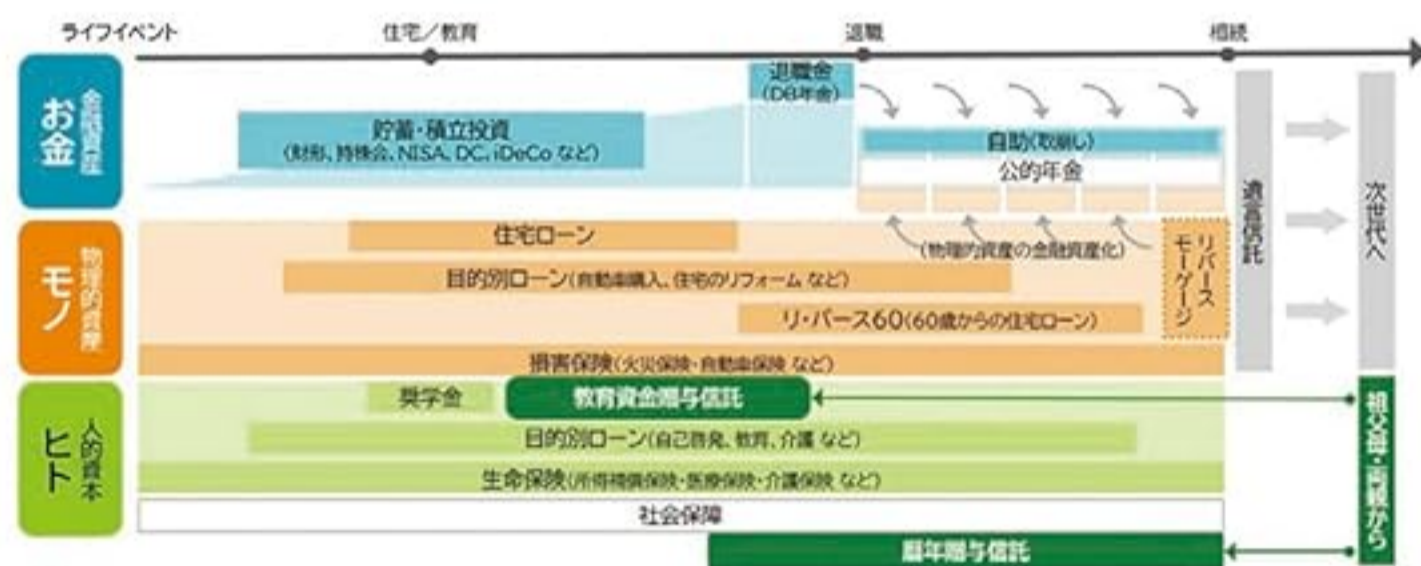
出典：三井住友トラスト・資産のミライ研究所「金融リテラシー度とファイナンシャルウェルビーイングに関する実態調査」(2023年)より令和の「金融リテラシー」事情

年収区分	金融リテラシー度	回答者数	働く目的 (%)			
			お金を得るために働く	社会の一員として務めを果たすために働く	自分の才能や能力を発揮するために働く	生きがいを見つけるために働く
300万円未満	良好	56	47.1	19.8	32.5	
	順調	894	71.6	8.2	15.4	
	不足気味	860	86.2		8.4	
300万円～700万円未満	良好	220	66.3	12.0	13.2	8.5
	順調	1,473	75.6	7.1	7.0	10.3
	不足気味	648	90.2		5.5	
700万円以上	良好	126	53.8	10.2	19.3	16.7
	順調	517	59.9	11.1	10.5	18.5
	不足気味	82	80.6		5.1	6.4

\*選択肢「いずれにもあてはまらない/わからない」を除く \*5%未満はグラフ内の比率表示を省略

図2 ヒト・モノ・お金を柱にしたマネープランの考え方

出典：三井住友トラスト・資産のミライ研究所



## もっとお金と「いい関係」を築こう ファイナンシャル・ウェルビーイングとは

物質的な豊かさから、精神的な豊かさを求める時代へと移行しつつある今。お金と幸福度は必ずしも比例しない。だが、まったくお金がなくてよいかというと、そうではないことも確かだ。しかも住宅購入、教育費など、子育て世代にはお金が必要なイベントが次々待ち受けている。ここでは、近年注目される「ファイナンシャル・ウェルビーイング」について紹介する。

文/笹間聖子



教えてくれた人  
三井住友トラスト・資産のミライ研究所  
人生100年時代、1人ひとりが将来を安心して過ごすための資産形成・資産活用あり方について調査・研究している研究所。取引先企業の従業員や個人客に対して、セミナーや研修を通じて資産形成・資産活用についての情報発信と啓発を行っている。また小学生以上を対象に、お金の役割や貯蓄方法など、「金融教育」の出発授業も実施している。

人生のライフイベントを把握しお金の準備ができていく状態へ「ファイナンシャル・ウェルビーイング」とは、「将来のライフイベントを適切に把握し、賢い意思決定によりお金に関する不安を解消させ、未来に向けて自律的に行動できる状態」を指すアメリカ発の概念だ。現在の収支がコントロールできていることはもちろん、長い人生において節目となるイベントを把握し、それに対してお金の見通しが立っている状態を意味する。

お金のリテラシーが高い人ほど仕事に生きがいを見出している